



東北大学極低温科学センターだより 号外

2012年11月26日

緊急： 液体ヘリウムの供給制限と回収率向上について

—米国のヘリウム輸出制限—

日頃より極低温科学センターの運営にご協力いただきありがとうございます。

すでに、マスメディア報道（ディズニーランドなどでのバルーン販売の中止）などでお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、現在、液体ヘリウムおよびガスヘリウムの調達が全国的に非常に厳しい状況となっています。これは、我が国のヘリウムの最大の輸入元である米国（95%）の輸出制限によるもので、今年度初夏より始まった既存プラントのメンテナンスとその後発生した不具合に加え、今年度稼働予定していた新規プラントの不具合が重なったことが原因とされています。さらに現時点でこれらの復旧の見通しはたっていません。この状況を受け、ヘリウム納入業者より東北大学に対して、今後の「ヘリウムの納入量および納期に関して、希望通りにはいかない」との通知がなされました。

極低温科学センターでは各研究室で使用した液体ヘリウムの蒸発ガスを回収し再液化しておりますが、回収率が100%でないため、**今後、液体ヘリウムの購入ができなくなった場合、液体ヘリウムの供給制限、さらに停止をせざるを得ない状況になります。**
（納入が完全停止した場合、約1-2ヶ月で供給停止）

これから年末にかけて、学内ヘリウムの需要が増大する時期となりますが、ユーザーの皆さまにおかれましては、上記状況を鑑みて、当面、**液体ヘリウムを大量に使用する実験の延期、日常での液体ヘリウム利用の節約と回収率の向上**にご協力下さい（回収ラインの漏れ探し用に簡易ヘリウムリークディテクターの貸し出しも行っています）。

現在ヘリウム調達はすでに不安定なものになっております。これからも必要に応じて情報を発信していきますので、本センターからのメールやホームページでのお知らせには十分注意して研究計画を立てていただけるようお願い申し上げます。

この件に関する問い合わせ先

青葉山地区： helium@mail.clts.tohoku.ac.jp

片平地区： ltcenter@imr.tohoku.ac.jp